

煤払い、すすはらい

神道のしきたり



煤払いとは一年の終わりに積もったほこりや汚れを掃除し、清らかな心で新年を迎えるための古くから続く行事です。地域によっては「正月迎え」や「ことはじめ」「ええことはじめ」「まつならし」などと呼ばれます。

煤払いに使われる道具は笹竹の先に葉や藁を付けたものを使用します。その笹竹を清め竹という地域もあり、煤払いには掃除だけでなくお清めの意味もあります。

また使用した笹竹を処分せず小正月のとんど・左義長の際にお焚きあげする地域もあります。

神社では社殿や神具、境内を隅々まで心を込めて清掃し、一年を無事に過ごせたことへの感謝を捧げるとともに神様に快く新年を迎えていただくための大事な行事です。

全国的に見ると12月13日に行われる寺社が多くありますが、当社では例年12月27日に行っています。



祭典暦 令和7年12月

1	月	10:00	旬祭	本殿
		10:00	旬祭	本殿
10	水	11:00	沖恵美酒神社月次祭	境内末社
			招福縁日 十日市開催	
20	土	10:00	旬祭	本殿
22	月	10:00	冬至の日祭	本殿
27	土	10:00	煤払祭	本殿
		16:00	大祓式	拝殿前
31	水	18:00	除夜祭	本殿
			12/20 土 手作り市開催	

道
しるべ

吉凶は人により、日にあらず
—兼好『徒然草』



元びす宮 總本社
西宮神社

〒662-0974 兵庫県西宮市社家町1-17
TEL 0798-33-0321 FAX 0798-33-5355
<https://nishinomiya-ebisu.com>

Follow Me

Instagram 西宮神社 公式 Instagram
@nishinomiya-ebisu_official



「福」をお届け

福の字には多くの書体があり、個性豊かなものが数多く存在します。
月毎に表紙で紹介し、皆様に福をお届けいたします。



西宮神社 12月行事ご案内

福



師走

令和七年十二月

えびす昔かたり

江戸時代の西宮神社の様子を御社用日記を紐解き、紹介致します。

【御社用日記】

元禄7年から現存する西宮神社の神主が代々書き綴ってきた日記で、兵庫県と西宮市の重要文化財に指定されています。

解説

吉井宮内は神主として蛭児社・広田社・南宮社の神事祭礼を主宰。中村・浜・田中・東向は社家として主に祈禱を行い拝殿の当番を務めていました。

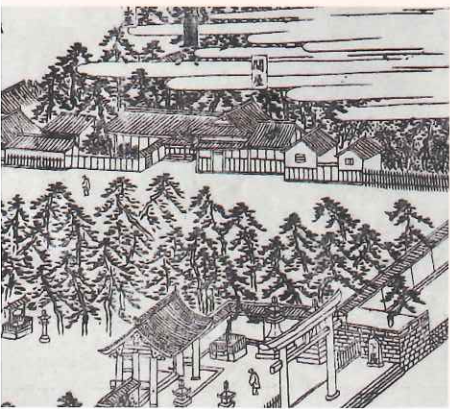
願人頭の中西・辻は御神影札の印刷の他、蛭児社の賽銭管理などを職務としており、祭事(祭典や祈禱)に従事することはありませんでした。

夷ノ像とはえびすさまの御神影札のことであり、四代將軍徳川家綱公より全国に独占的に頒布する免状を頂いており、定期的に境内にあった関屋で御影札が刷られていました。

御神札の印刷については願人の仕事でしたが、印刷の際には必ず神主が立ち合うことや版木についても神主とともに保管することなど、自由に刷って販売することなどはできないこととなっており、御神影札の収入の一部が社中の建物の維持管理の費用に充てられていました。

関屋において吉井宮内良信、中村治部・浜庄大夫・田中右衛門・東向刑部・願人二人(中西太郎兵衛・辻勘右衛門)立ち合い夷ノ像を押しました。

宝永四年(一七〇七)十二月二日



▲江戸時代の版木

◀江戸時代の関屋(現在の樽師舎付近)

大福初詣

一足早く大きな福をお迎えください

お正月・十日えびすは混雑が予想されます。

「密」を避け、安全にお参り頂くため分散参拝にご協力をお願いいたします。

令和7年12月1日～令和8年2月末までを『大福初詣』期間として招福御幣、干支物、熊手などを授与致します。

※福笹の授与は令和8年1月4日から2月末まで



▲新授与品「開運守」



▲干支絵馬「午」

逆さ門松ご奉納 12/27(土)

当社の門前町では、古くより十日えびすの宵宮の九日夜、各家の門口に立ててある門松の枝を逆さにつけかえ、静かにえびす様をお迎えする「忌籠」の風習がありました。昔の「門松」は、枝葉のついた大きな斎竹に松を盛り添えて造られており、通りがせまくなる程であったといわれています。

この為、この夜えびす様が神馬にお乗りになられ市中を巡行される際、松の葉先があたっては大変であると言うことで、この様な形になったと伝えられています。

今ではこの門松を見受けることはありませんが、当社では逆さ門松の伝統を復興し、平成20年より西宮神社三田分社にご奉納頂き、参拝の皆様をお迎えしています。

12月27日から1月11日まで据え付けていますので、ご参拝の折には是非ご覧ください。

また12月10日から授与所におきまして、ご自宅用の手ごろな『逆さ門松』を授与しています。お正月から8日までは葉先を上、9日から11日の十日えびす期間は葉先を下にしてお飾り頂けます。



▲西宮大神本紀 逆さ門松



▲拝殿前の逆さ門松



▲家庭用逆さ門松(数量限定/1体2,000円)

西宮の古い風習に触れることが出来ますので、一度手に取ってご覧下さい。